

2026年4月23日(木)

北海道エアポート株式会社

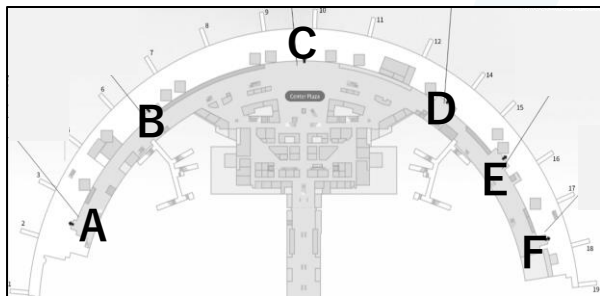
## 新千歳空港 国内線保安検査場 スマートレーンの導入について

新千歳空港を運営する北海道エアポート株式会社は、国内線保安検査場において、スマートレーンの導入を進めます。

### 導入概要

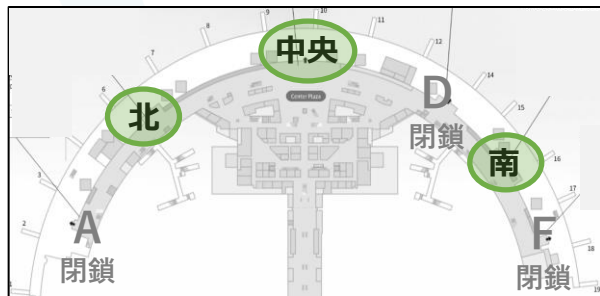
- 導入目的：スマートレーン導入により**検査準備の同時化・簡略化**を進めることで、繁忙期における**保安検査場の混雑緩和**を図るとともに、**安定した保安検査体制を確保**する
- 工事期間：2025年12月から2027年12月まで
- 導入場所：新千歳空港国内線旅客ターミナルビル **保安検査場B・C・E(北・中央・南)**
- 導入方法：現行の機能を維持しながら段階的に導入を進める  
第一弾として、繁忙時期を見据え一部スマートレーンの先行運用を開始
  - ・2026年4月24日(金)から北検査場2レーン運用開始
  - ・2026年5月1日(金)から中央検査場2レーン運用開始スマートレーンの導入が全て完了後、**保安検査場を6カ所から3カ所へ集約**
- 導入効果：1レーンあたりの**処理能力が従来比“約2倍”**に向上することで待ち時間が短縮

【現在 従来型レーン】



保安検査場の数：6カ所  
搭乗券確認方法：検査レーンにて実施

【スマートレーン】



保安検査場の数：3カ所  
搭乗券確認方法：検査場前にて実施

<参考> スマートレーンの主な特徴

- ① **最大4名同時に準備**ができ、準備が整った方から**追い越しが可能**
- ② 高性能検査装置により、**パソコン・ペットボトルの取り出しが不要**
- ③ **手荷物を載せたトレイは自動で運ばれる**ためお客様による運搬は不要
- ④ カメラで**忘れ物を検知**し、**空のトレイは自動で回収**する

